

令和7年6月定例会 一般質問 上田井良二議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

「香芝市の防災について」

○上田井良二 改めまして、皆さんこんにちは。

物価高騰対策、特にお米の対策として政府備蓄米の放出や、政府の備蓄米の随意契約による売渡しを政府に提言しました公明党の上田井でございます。

議長のお許しをいただきましたので、一般質問させていただきます。

今年3月に改選しまして新たな陣容でのスタートとなり、初めての一般質問となりますが、今回は1つのテーマについてお聞きしたいと思います。

昨今の自然災害について、全国的に見ましてもいづどこで何が起こってもおかしくない状況から考え、実際に災害が発生したとき、いかに迅速に市民を守る体制を取ることができるのかが喫緊の課題でもあると考えます。

昨夜も夜中の3時ぐらいですかね、かなり雨が降ったようでございます。それでも、見ますと13ミリ、たくさん雨が降る昨今では130ミリ、その夜中の3時に降った10倍の雨が降る可能性がある。いつそういう災害が起こるかも分からない。また、今年に入ってからでしょうか、風が強く吹く日も多くございまして、全国的に今までに経験のない山火事や森林火災、これによって多大な被害を受けておられる方々もおられます。

そんな中、1つ目の質問ですけれども、香芝市におきまして新たな組織体制の下でのスタートとなったことから、改めまして香芝市の防災に対する考え方を伺いまして、壇上での質問を終わります。よろしくお願いいたします。

○危機管理監 香芝市地域防災計画において定められている行政の責務と市民の心構えのとおり、県及び関係機関等との緊密な連携の下、生命の安全を第一にして、防災設備及び設置の整備を促進するとともに、防災体制の充実と市民の防災意識の向上を図ります。

また、消防機関、消防団等の組織の整備、自主防災組織等の防災関連組織の充実を図るとともに、市民の自発的な防災活動の促進を図ってまいります。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

香芝市におきましても、他市同様、自主防災組織が各地域で編成されておるようでございます。災害発生時には市の部局が一丸となり、リーダーシップを発揮して、市民をよりよい方向へと導いていくこと。特に、自助、共助、この部分について日頃からの訓練等を含めまして、市民へのPRを行い、行政が先頭に立ち、引っ張っていくということが必要であると考えますけれども、これまでの対応から変更や新たに何か行ったことはこれまでであるんで

しょうか、お聞かせください。

○危機管理監 自助、共助に関しましては、香芝市の自治会や自主防災組織が培ってきた経験や取組をさらに向上させるため、本市として共に取り組んでいきたいと思っております。

また、防災施設、防災設備の整備及び防災体制の充実につきましては、令和7年度に計画している同報系防災行政無線や河川等監視システム、トイレカー等の設備を確実に進めていきます。

さらに、奈良県広域消防組合及び香芝市消防団による合同訓練の実施を計画しているほか、消防団員確保に向けた取組について、消防団団長及び副団長と協議を行っております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

災害発生時には情報伝達手段がかなり寸断されると。携帯電話も使えない、もちろん家の電話も使えない、いろんなことが一時的に陸の孤島化ということが、状況に陥ることもあることから、先ほどありましたデジタル防災行政無線同報系システム、これを今議会においても提案されておられますし、ベッドのほうも今回提案をされておられるようですけれども、そのほかに他行政や各関係機関、これとの連携については再度お聞かせいただけますでしょうか。

○危機管理監 他の行政との連携につきましては、奈良県、奈良地方気象台との連携が特に重要であると考えております。

奈良県防災行政通信ネットワークを活用して、奈良県と奈良県内の他の自治体、奈良地方気象台等の防災機関を相互に結び、災害時の避難情報の発令や避難所の開設といった情報を迅速に共有できる体制を構築しております。

また、奈良県や奈良地方気象台、全国市町村国際文化研修所が実施する研修等に積極的に参加しており、災害への対応に関する気象知識の習得や防災意識の底上げに努めております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

この間、頂きました中期基本計画、令和7年度から令和10年度、ここには災害対策の強化ということで、市民ができること、地域団体ができること、その中に自主防災組織を結成し、防災訓練を実施する。また、自助、共助についても書かれております。災害発生時には、市が行う公助の前に、まずは必要とされます自助、共助、これについて市民の皆様への理解を深めることは私自身も大切ではないかなというようにも思いますけれども、そこで災害を想定した準備段階においてのリーダーシップ、これは市は發揮していただきたいと思うんですけれども、その一つとして自助、共助についての市民の皆さんの意識向上につながる情報共有を含めたPR等について伺いたいと思いますが、何か意識向上策は考えておられるのでしょうか。

○危機管理監 香芝市地域防災計画における地域防災力の向上に資する取組として、外部

からの支援や救助が届くまでの間、自分たちで命をつないでいただくために、市民主体による自助と共助が重要である点を伝えていく必要があると考えております。また、市民同士においても自助と共助の大切さについて伝え、広めていただきたいと考えております。

以上でございます。

○上田井良二　ありがとうございます。

市民の皆さんの意識向上策となれば、自主防災組織一つについてでも、市民の方が皆さん関わっておられるかということ、そうでない部分がありますし、各自主防災組織がせめて設定されておられるかっていったら、そんなこともないでしょうし、いかにして市民の皆様が市はこういうことを考えてますということが、それについては防災訓練を指導していただく、私が以前にもお話しさせていただきました学校の校区、その避難所単位でやること等も大事ですけれども、いかにして防災訓練を実施するかということも考えながら、自主防災組織の皆様の、先ほどの中期基本計画にも書いてました地域団体ができること、市民の皆様ができること、これは書いてあるんですけれども、やはり市がどういうふうに引っ張っていくかというのは、市のほうから何かアクションを起こさないと、なかなか市民の皆様に情報伝達できないんじゃないかなというふうにも思うんですけども、そのあたり防災訓練を実施することが必要だと考えるんですけど、現時点での市の考えはどうなんでしょうか。そのあたりを教えていただけますか。

○危機管理監　防災訓練の実施につきましては、地域差があることから、将来的には自治会や自主防災組織の方々が自らが中心となって企画することができるよう、市が主体となってその役割や必要性について周知をしているところでございます。

具体的には、市職員による出前講座や地域の防災訓練への参加において地域の連携を図っており、実際に真美ヶ丘や旭ヶ丘の自治会や自主防災組織におきましては、防災訓練について自ら企画して実施していただいております。

以上でございます。

○上田井良二　ありがとうございます。

自主防災組織の方は、非常に頑張っているところもございますし、組織についても高齢化が非常に進んでるのではないかなというふうにも思います。学校のPTAの方々につきましても、若いお父さん、お母さん、やっていたいているようですけれども、最近共働きが多いということで、昼間どれだけの人数が香芝市に在住されておられるのかというのもまだまだ分からない部分もあるかなと思うんですけども、自主防災組織の方についても高齢化が進んでいる、そういうこともあるんですけども、私の思いとしては大規模災害時、小・中学校への避難、これも以前話させていただきましたけれども、毎年何回か開放されます大雨や台風通過時の福祉センターや北部地域交流センターへの避難、この違い、これをまた認識していただくというのも重要だと思いますし、避難場所へのルート確認、家族間や地域住民の間での情報共有の手段として、市が主体となってやいただくことが必要であると考えられるんですけども、今のところ実施するに当たって何か苦慮する点、その他、

気になってる点などは何かあるんでしょうか。そのあたりを教えてください。

○危機管理監 防災訓練の実施は、熱中症対策が必要となる夏季や寒さの厳しい冬季には実施しづらいという事情がございます。そのほか1月、3月、4月、10月、12月といった年末年始、学校行事、農業などの仕事の都合、催事等の日程の調整が難しいこともあって、結果として5月、6月、11月などに集中しております。市の事業等もこういった時期に重なることも多いため、市職員が参加することも考えると、計画的に実施しなければいけない点に調整の難しさを感じております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

自治会さんや自主防災組織さんが主体となって防災訓練を実施する際、先ほども言いましたように、地域の集会所や公園などを会場として行われることも多いと考えます。これらの施設は、災害時の一時避難場所としての機能が期待できるんですけども、やはり指定緊急避難場所としては、あくまでも小・中学校が対応することになると思います。市が指定している施設でもありますんで、これらを市民の皆さんが混同しないように、何か周知は今のところ行えているんでしょうか。そのあたりを教えてください。

○危機管理監 議員ご指摘のとおり、災害時に指定緊急避難場所に避難する前の段階で地域の集会所、自治会等が自主的に設置する一時的な避難場所として利用されることがございます。ただし、そのような一時的な避難場所と市の指定緊急避難場所が混同して受け取られないように、看板等における表示についても、市が避難場所に設置している看板に用いている災害種別一般図記号を用いないようにしていただくなどの注意をしていただく必要がございます。

ただし、集会所を一時的な避難場所として利用するには、本市の防災施策に資する取組でもあるので、そのような利用をされる際にご留意いただきたい事項を現在整理しているところでございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

大規模な地震等ではなくて、災害がまだまだひどくないといった状況、またもしくはこの後必ずしもひどくなるかどうか分からないという段階での早期の自主避難を行いたい方や自宅に独りでいるのが不安な方などを地域として受け入れて、状況がもう少し逼迫してから必要に応じて市の指定緊急避難所へ皆で避難をするといった運用もあると思うんですけど、そのあたりは基本と考えているんでしょうか。そのあたりを教えてください。

○危機管理監 各地において災害時に避難する公的施設の指定緊急避難場所があり、最寄りの指定緊急避難場所に避難せずとも、集会所等で垂直避難により安全が確保できる場合や、移動が返って危険となるおそれがある場合には、当該一時避難所にとどまっていただくことも選択肢の一つとしてあり得ると考えます。

また、先ほど述べたとおり、集会所等を一時的な避難場所として利用するに当たっての留

意事項等を現在整理しているところでございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

気をつけていただきたいのは、あくまでも机上の訓練や準備が全て災害発生時にもしっかりと立て分けて、区別ができて、迅速かつ的確にできるものなのかどうかを自問自答することも認識していただくということが必要ではないかと考えます。非常に難しい点ではあると思うんですけれども、訓練をやったから全て災害が起きたときに大丈夫かといったらそうではないと思います。やはり慌てるのが一つですし、うろもきます。そういういろんなことを考えた中で、先ほどもお話ししたと思うんですけれども、市民の皆様の意識向上策の一つとして、市主導の防災訓練が私は必要であると考えます。訓練は、その日を利用しての、先ほども言いました家族間の話合い、また災害準備品の確認や補充、防災品等の紹介、また展示や体験コーナー、感震車というんですかね、トラックでありますように、市が今度買う予定でもございます簡易ベッド、それを紹介していただくなり、見せていただくなり、通じて防災や減災につながる日を一日でも防災訓練の日として設けていただくように、今後も考えていただきたいと思うんですけれども、**防災に関する市民の皆様への情報提供については、何かそのあたりあるんでしょうか。教えていただけますか。**

○危機管理監 令和7年度に同報系防災行政無線の整備や河川や水路等の状況を監視するカメラを設置し、大雨時や平常時間問わずに監視することができる河川等監視システムを整備し、防災メールやSNS等を活用して迅速に災害情報を可能な限り市民に伝えることを予定しております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

最後に、市長にお聞きしたいんですけれども、今回私もびっくりしたんですけれども、簡易ベッドの購入なり、以前より川田議員もお話ししておられました行政無線、それもシステムをしっかりと構築されるという話も聞きました。それらも、**どういうふうに市民の方にこういうのがありますということを周知していくか、理解していただくかということがやはり大事ではないかなというふうに思います。**

私、いつも話しますように、この情報は市民の皆様へどういうふうに伝達してるんですかと、よくホームページという話もございますけれども、いかに100%に近い方々が簡易ベッドを購入しましたということを理解していただけるのか、こういうのがありますと、避難場所はこちらですということを365日ないし366日の一日だけでもそういうことを考えていただける日を設けるべきであると思うんですけれども、そのあたり、市長のお考えはどうでしょうか。

○市長 議員お述べのように、**市民の皆様が防災、災害対策につきましてお考えをいただく日を設けるというのは、極めて重要なことであると私も考えてございます。その一環といたしまして、これまでも市が主催して自主防災組織や関係機関等が参加する対応での防災訓**

練の実施ということも目指してきたところでございますが、なかなか庁内の体制も十分でなかったことから、現時点では実現することができていない状況でございます。

これまでは、避難場所標識の改善であったり、同報系防災行政無線や河川等監視システムの整備なども進め、また庁舎内でも危機管理部局の執務場所の見直しや設備面の整備を進めているところでございます。また、今後備蓄品の数量等につきましても、市民の皆さんに向けて公表していく準備を進めているところでございます。

令和7年4月には知見及び経験共に豊富な人材を危機管理監として任用したところでございます。新たに任用した危機管理監に対しましては、議員ご指摘のような避難所の運営等に関する防災訓練の実施や、また台風や大地震の発生を想定した災害対策本部の設置運営訓練の実施などについても検討するよう指示してございまして、この分野で十分な活動を実施している他の地方公共団体における資料を取り寄せたり、事例を研究するなどしている段階であるとの報告を受けてございます。遅くとも本年度、令和7年度中にこれらを実施をして、市民の皆様が防災や災害対策について考えていただけるような日を設けたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

危機管理監も新しく選任されてまだまだ日が浅いということで、これからすごい期待するところでもございます。また、新たに組織の方々においても、市民の皆様の訓練だけではなく、職員の方々の、先ほどもお話しいただきました訓練についてもそうですし、休日のときの災害発生時、例えば学校が避難所になつとるんですけども、恐らく鍵が閉まってると思いますんで、それを誰が開けに行くんだということの部分もあります。いろんな形で、皆さんが大地震とか来て、助かっておられればいいんですけども、不運にもお亡くなりになられた方もおられるかと思えますんで、人数が少なくなる、そのあたりをどうするんだとか、いろんな形でこれから縦割りの行政なんですけど、横のボトムアップも必要なんではないかなというふうにも思いますので、いろんな形でこれから私、防災についてもしっかりと質問させていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。